

ビジネスWeb

ファイル伝送取引における操作／機能の変更について

新システムへの移行に伴い、ファイル伝送取引における操作／機能の変更についてご案内いたします。

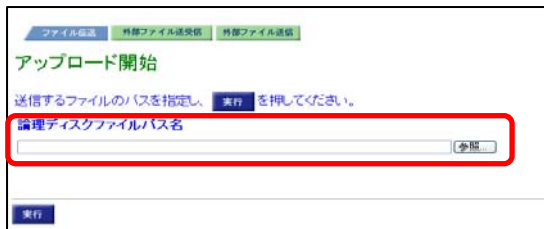
従来ファイル伝送取引において必要であったパソコンへの **Java JRE** のインストールを不要としました。これに伴いファイル伝送を実施する際に、ファイル伝送ボタンを押した後に表示される「ファイル伝送を開始します」画面が表示されなくなります。

一方、ファイル伝送時の論理ディスクパスの指定タイミングが変更となり、また、進捗状況インジケータが非表示となります。以下、ファイル伝送取引の外部ファイルのアップロードおよび外部ファイル受信を例に変更箇所を説明します。

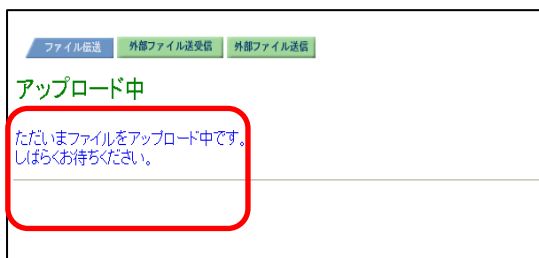
[外部ファイルのアップロード]



①送信テーブルを選択し、アップロードを選択します。



②論理ディスクファイルパス名を選択し、**実行**をクリックします。
※新システムではアップロード時に論理ディスクファイルパス名を指定していただくようになります。



③「アップロード中」画面が表示されます
※「アップロード中」に表示されていた進捗状況インジケータが新システムでは非表示となります。
※また、ファイル伝送時もアップロード同様に、進捗状況インジケータが表示されなくなります。

[外部ファイルの受信]

①受信する外部ファイルの「選択」欄にチェックを入れ、**選択**をクリックします。

②外部ファイルの内容を確認します。

③必要に応じて、サイクル番号を入力します。

④受信する場合は、「利用者確認暗証番号」を入力し、**受信**をクリックします。

⑤「受信中」画面が表示されます

※「受信中」に表示されていた進捗状況インジケータが新システムでは非表示となります。

⑥内容を確認します。

⑦**ファイルの保存**をクリックし、受信結果を任意の論理ディスクパスを選択し、保存します。

※「受信テーブル作成」時に、事前に受信用のファイルをパソコン上に準備する必要がなくなりました。

⑧**確認**をクリックします。